

## 令和4年度第3回川口市文化芸術審議会 意見・質問等一覧

## (1) アートギャラリー・アトリアの運営に係る重要事項に関する答申(案)について

No.	箇所	意見・質問等	意見・質問等	事務局回答
1	1～3	要望	指定管理者に対する答申は良い。これらを実施していくためには、市の弾力的な条例、規則等の解釈、運用が必要で、「如何にしたら行えるか」という姿勢が大切である。そうした市のバックアップがなければ、指定管理者は求められる事業運営が出来ない。市の指定管理者制度の理解と自由度の高い運用を要望する。	指定管理者が適正な事業運営ができるように、市といたしまして、指定管理者導入後も積極的に関わって参りたいと考えております。
2	2	意見	「2050年カーボンニュートラル」、「SDGs」等を意識した事業運営が必要だと思う。	指定管理者から提案されております、障害者等の無料などの「SDGs」等を意識した事業提供や電力供給する電気事業者の環境に配慮した選定などの事業運営が出来るよう、心掛けて参りたいと考えております。
3	1	意見	子供を対象とした教育普及事業とありますが、子供といっても様々な成長段階があり、0～3才、幼児、小学生低学年等々、様々な年齢層向けのものがあると良いと思います。小学生向けの文化普及事業はとて多いのですが、他の年齢層へも目を向けた内容があると良いと思いました。	現在、アートギャラリーでは、未就学児を対象としたアートの関連イベントや中学生以上、高校生以上など、年齢層に応じたワークショップや講座などを実施しております。今後は、さらに多様な年齢層が参加できるような内容が提供できるよう、指定管理者との協議の中で、参考にさせていただきます。
4		要望	日本文化の衰退に対する手助けをお願いいたします。和楽器の実体験、華道、茶道の実習。畳文化の常識(床の間、敷居、畳の縁、座布団の座り方)	子ども達が「日本の伝統や文化」について、理解・経験する機会が減少していることから、市といたしましても、様々な機会を捉え、子ども達が伝統や文化に触れ、興味を抱いていただけるように、今後の事業運営の参考にさせていただきます。
5	全般	意見	意見言葉だけでは事業評価ができない(あいまいになる)ので、具体的な数値目標があった方がよいと思います。たとえば、参加者が人口の〇%や小学生の〇%等。	「川口市文化芸術基本計画」において、具体的な指標を掲げ、評価しております。
6	その他	質問	前回は文化行政全般に関する意見がたくさん出されたと思いますが、文化推進室として今後どういう目標を持っていかれるのか、ぜひお聞きしたいです。	「川口市教育振興基本計画」や「川口市文化芸術基本計画」に目標を掲げ、取り組んでいるところであり、ご意見を参考にしながら、今後、その実現に向け推進して参ります。
7	1	質問	多彩な教育普及事業の展開として、街路、公園、緑地などに設置できる移動可能な作品展示版のようなものを造り、巡回アートギャラリーはできませんか。	移動可能な作品展示版等につきましては、様々なイベントとあわせて、アートを展示・観覧できるように、今後の事業運営の参考にさせていただきますと考えております。
8	1、3	要望	「子供達に文化芸術に触れる機会の充実に努める」にあたり、作成することだけでなく、まずは観ることから興味を持つ子供達がいると思います。そのためにも、川口市の作家さんの絵画や彫刻、他の展示会を増やして欲しいです。そのことにより、幅広い年齢層の方にも気軽に文化芸術に触れるきっかけになると思います。	現在、アートギャラリーでは、川口ゆかりの作家を紹介する「川口市寄贈作品展」(年2回)の開催をはじめ、「川口市美術家協会選抜展」、「川口の美術家たちのアートな毎日」を行っておりますが、市内の作家について、今以上に市民に知っていただく機会が提供できるよう、指定管理者と協議して参ります。
9	1、3	要望	学校側から保護者に、アートギャラリー・アトリアなどで開催している展示会に、子供を連れて足を運んでもらえるようなお知らせ、声かけをしていただきたいです。	毎年、年度当初に市内の学校を通して、全ての小・中学生に対し、学校関連の展示会やコンクール等のスケジュールを記載した「ATLIA カレンダー」を配布し、保護者の方に周知を図っているところですが、さらに充実した内容となるよう、検討して参ります。
10	2	要望	「インターネットやSNS等の様々な手段を活用して、情報発信」をできるだけ拡充させて欲しい。紙媒体中心の発信ではどうしても情報を届けられる層に限られてしまう時代に既に入っている。柔軟な情報発信に期待します。	現在、デジタル技術を活用した情報発信は、多くの方々に情報を伝える手段として必要不可欠であることから、市といたしましても、活用すべきと考えておりますので、今後、指定管理者と協議して参ります。
11		要望	アートギャラリーは、誰もが気軽に入れるような立地条件だと思えます。これまで美術や芸術に興味を持てなかった人々に来てもらうためには、それぞれの自分に合ったような発見がみつき楽しい気持ちが湧くような工夫を凝して欲しいと思えます。	指定管理者から「美術のみにこだわらず音楽、ダンス、舞踏など、芸術全般とのコラボレーション」などの提案がされていることから、さらに市民が身近に芸術に触れる機会を増やし、アートへの関心が高まるよう、今後、指定管理者と協議して参ります。
12		要望	現代アートは、作家のコンセプトがよくわかるので、観る人自身が考えられます。これがアートなのかということもありますが、新しい創造への挑戦もして欲しいと思えます。	既成の美術に捉われず、様々なアートを取り入れるよう、指定管理者と協議して参ります。
13		要望	アートギャラリー・アトリアの内部だけでなく、周囲の環境と調和した一歩進んだ市民が足を運びやすい環境づくり(カフェやキッチンカーを取り入れるなど)をお願いしたい。	民間事業者が得手としているものであることから、どのようなものができるか指定管理者と協議して参ります。